

事業シート（概要説明書）

予算事業名	地域文化活動発信事業費	事業開始年度	平成8年度
上位施策事業名	文化にふれ親しむことができる環境づくり	担当部局	生活・文化部
根拠法令	なし	担当室	文化振興室
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	グループ名	文化企画グループ
事業の必要性・実施の背景	<p>三重県は俳聖・松尾芭蕉をはじめ、俳祖・荒木田守武、大淀三千風など、多くの俳人を輩出してきたにもかかわらず、俳句にゆかりの深い地としての三重の認知度は県の内外を問わず低く、この状況を脱するためには、全国・海外への情報発信が必要である。</p> <p>俳句の創作は特別な道具を必要とせず、時間や場所の制限を受けないため、誰もが気軽に取り組むことができる最適の手段である。</p> <p>人や自然など、自己をとりまく環境を見つめて詠む俳句は、県民一人ひとりに地域を見つめなおす機会をもたらすことができ、郷土愛や郷土に対する誇りの醸成につながる。</p> <p>地域の文化を後世に継承させる取組、文化の担い手の裾野を広げる取組は、短期間で成果が現れるものではなく、継続することによって幅広い世代に地域文化を根付かせることができる。</p>		
目的 (何をどうするために)	<p>事業のPRをとおして、「俳句のくに」としての三重県の認知度を上げる。 県民が俳句にふれ、郷土文化の価値を再認識する機会を提供する。</p>		
目標 (何がどうなれば達成か)	<p>より多くの方にたくさんの俳句を創作していただくとともに、三重県の俳句文化について知ってもらう。</p>		
対象 (誰・何を対象に)	<p>俳句の創作に関心のある者および新たに俳句創作に取り組む者</p>		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者:)		
	<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: 実施主体:)		
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		
事業概要	<p>1 俳句応募に関する事項</p> <p>①応募期間 5月16日～10月18日 約5ヶ月間 (平成20・21年度は11月19日までの約6ヶ月間)</p> <p>②応募方法 ハガキ、FAX、インターネット</p> <p>③テーマ H23:「土」 H22:「人」 H21:「国」 H20:「火」</p> <p>2 優秀句の発表</p> <p>①選考 日本の俳句界を代表する俳人4名(有馬朗人氏、宇多喜代子氏、中原道夫氏、星野椿氏)および三重県俳句協会による選考</p> <p>②賞 最優秀賞、選者賞、共催県・協賛市町賞、協賛団体賞、海外特別賞、佳作 小学生・中学生・高校生の部 最優秀賞、優秀賞</p> <p>③発表の方法 表彰式の開催(一般応募・最優秀賞) 県ホームページ「三重の文化」での入賞句掲載 角川学芸出版による句集刊行</p> <p>3 「俳句のくに・三重」のPR</p> <p>①実施案内送付によるPR (県内小中高等学校、県内市町、都道府県、過去の参加者・参加校、高齢者福祉施設など)</p> <p>②県内外におけるチラシ・投句箱の設置</p> <p>③県ホームページ等による広報およびメディアによる報道</p> <p>④県内イベントへの参加</p> <p>⑤日本まんなか共和国(滋賀・岐阜・福井・三重)におけるイベントへの参加</p> <p>4 多様な主体との連携・協働</p> <p>①日本まんなか共和国各県によるPR・入賞賞品の提供</p> <p>②県内市町、企業・団体からの入賞賞品・応募者プレゼント提供</p> <p>5 俳句文化担い手の裾野を広げる活動</p> <p>①学校教育での取組の推奨</p> <p>②俳句インストラクターによる子どもを対象とした吟行</p> <p>③俳句教室(平成21年度から指定管理事業にて実施)</p>		
事業内容 (手段、手法など)	<p>※当該事業以下に細事業がある場合は、事業費とともに記載</p>		
関連事業 (同一目的事業等)	文化活動連携事業費		

事業シート（概要説明書）

予算事業名		地域文化活動発信事業費				事業開始年度		平成8年度		
		23年度（予算）		22年度（決算）		21年度（決算）		20年度（決算）		
コスト	事業費	報償費	1,361千円	1,245千円	912千円	1,352千円				
		委託料	868千円	1,018千円	860千円	860千円				
		需用費	781千円	632千円	888千円	947千円				
		役務費	876千円	126千円	126千円	158千円				
		その他	124千円	148千円	4千円	142千円				
		事業費合計	4,010千円	3,169千円	2,790千円	3,459千円				
		人件費	担当正職員	0.5人	4,504千円	1.0人	9,516千円	1.5人	14,205千円	1.5人
		臨時職員等	2.0人	4,234千円	2.0人	4,188千円	2.0人	4,178千円	2.0人	4,134千円
		人件費合計	2.5人	8,738千円	3.0人	13,704千円	3.5人	18,383千円	3.5人	18,149千円
		総事業費	12,748千円	16,873千円	21,173千円	21,608千円				
財源 内訳	国庫支出金		千円	千円	千円	千円				
	地方債		千円	千円	千円	千円				
	その他特財		4,010千円	3,011千円	1,449千円	千円				
	一般財源		千円	158千円	1,341千円	3,459千円				
	財源合計		4,010千円	3,169千円	2,790千円	3,459千円				
事業実績	活動実績	【活動指標名】		単位	H23年度 H23.7末現在	H22年度	H21年度	H20年度		
		事業案内チラシ印刷数		枚	250,000	98,000	125,000	204,000		
		キャンペーン・俳句教室実施回数 () 数値は指定管理事業		回	4 (2)	0 (3)	0 (1)	42		
	効率指標 (事業費/活動指標)	総事業費	事業案内チラシ 印刷数		0.05	0.17	0.17	0.11		
事業成果	成果実績 (事業目標達成状況)	【成果指標名】		単位	H23年度 H23.7末現在	H22年度	H21年度	H20年度		
		投句数累計		句	2,348,251	2,328,569	2,258,633	2,184,864		
		各年度投句数		句	19,682	69,936	73,769	91,950		
		キャンペーン・俳句教室参加者数 () 数値は指定管理事業		人	478 (81)	0 (77)	0 (56)	2,128		
		県外・海外投句数		句	未集計	46,373	45,063	55,126		
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)		<p>県内外で認知度を向上させるとともに、県民が地域の様々な魅力について学び、活動の輪を広げて行くことができるよう、引き続き、「俳句のくに・三重」の活動を通じて三重の文化を発信していく必要がある。近年、広報予算の削減等により応募数が減少しているため、これまでの実施方法を見直し、効果的なPRを行う必要がある。</p> <p>小学校学習指導要領の見直しにより、平成23年度から国語教育において、俳句の学習時間が増加することから、日常においても、子どもが俳句にふれる機会を増やす取組が必要である。</p>								
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		<p>芭蕉蛤塚忌^{ゴチャウキ}全国俳句大会（主催：「大垣」全国俳句大会実行委員会、事務局：大垣市教育委員会）</p> <p>投句数：32,056 (H22) 40,627 (H21)</p>								
特記事項 (事業の沿革等)		<p>平成8年度四日市港をメイン会場に実施された「第11回海の祭典」の開催テーマである「めぐみとゆめの海へ」にちなみ開始。選者はマスコミでも新進気鋭の俳人として著名な黛まどか氏を起用。三重県を「俳句の国」として全国に発信するための有効な手段として、また、「俳聖・松尾芭蕉の地における俳句文化の浸透」を目的に、海の祭典以降も毎年継続することとなり、今年度17回目の実施に至る。</p>								